

平安の都 古代の祭祀

～堀川に願いを込めて～



祭祀の様子



墨書人面土器

平安時代、疫病や災害が疫神の仕業だと考えた平安京の人々は、災いを祓うために人の顔を描いた墨書人面土器や薄板を人の形に削った人形代に悪い気をうつして川に流しました。平安京造営時の運河・堀川で、当時の厄払いを体験してください。

同時に、次代を担う子どもたちに日々の生活を営む中で「人と川(水)との関わり」を体験型のワークショップで学んでいただきたいと思います。

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 開催

但し、当日午前 7 時現在京都府南部に気象警報が発令の場合は中止

会 場：堀川一条戻橋から堀川第一橋の間
(雨天の場合は元西陣小学校体育館にて開催)

時 間：午後 1 時～4 時 (受付 12 時 30 分開始)

参加人数：先着 300 名に祭祀体験をしていただきます

内 容：人形代や土器に筆で厄神等を描き堀川へ流す(祓う)
祭祀遺物の展示

パフォーマンス

オカリナが奏でる土の響き
オペラで綴る平安遷都
和楽器合奏

体験ブース

火起こしやあんぎん編みなどの古代体験
カッパの絵展とカッパのお皿づくり体験
カッパと歩く、京の水ウォーク
バルーンアートや魚釣りゲーム など

注 意：開催場所には駐車場がありません。御来場には公共交通機関を御利用下さい。

<参加費> 無 料 (申込不要)

主 催：西陣歴史の町協議会 (京都百人一首・かるた研究会 紫式部通り会 じゅらくだい倶楽部 NPO 平安京)

共 催：(財)京都市埋蔵文化財研究所 (京都市考古資料館指定管理者) カッパ研究会
平安女学院大学国際観光学科 子どもと川とまちのフォーラム

問合せ先：京都市考古資料館 電話 075-432-3245 FAX 075-431-3307
<http://www.kyoto-arc.or.jp/>

参加団体紹介

鈴江先子（オカリナ演奏）

京都の女流オカリナ奏者。オリジナル曲を中心に、その雅なオカリナの土の響きは人々の心を魅了し様々なアーティスト、語りべとの共演、社寺仏閣での奉納演奏等、活動は多岐にわたる。

福井秀彦（ギター・パーカッション演奏）

常に、それぞれの作品イメージを大切にしたいサポートを心掛けている。



オペラプラザ京都

市民参加型のオペラグループ。「天国と地獄」や「こうもり」など、有名なオペラを日本語で上演し、わかりやすく、親しみやすい公演を目指す。先の国民文化祭では「魔笛」公演を高校生オーケストラと共演した。



カッパ研究会

2001年9月に設立。水文化の調査・研究と社会への発信を行なうボランティア団体。2003年3月に京都を中心に開催された「第3回世界水フォーラム」に向けて、千年の都・京都で育まれた「水にかかわる伝承」について調査・研究し、同フォーラムで研究報告するとともに、併せて「もっと知りたい！水の都 京都」等を出版。これからの「暮らしと水」を考える視点を『環境』『生活』『歴史と文化』と位置付け、この3つの要素が新たな「水の文化」として組み直され、持続可能な循環型社会を京の地から創りあげることを目指している。



和楽集団（わらくしゅうだん）まんざら

2009年に結成した箏・尺八・三味線などの和楽器合奏グループ。京都の町家やライブカフェでの演奏など、多くの人々に邦楽の魅力を伝えることを目標に活動している。



平安女学院大学国際観光学部

平安女学院大学は上京区にキャンパスのある4年制大学で、2007年に国際観光学部を開設。現在の観光は、地域の魅力を生かして「地域づくり」「地域活性化」を図ることを大きなテーマとし、平安女学院大学の国際観光学部も地域の住民・企業・業界団体・自治体と連携して、さまざまな地域連携の取組みを行なっている。



子どもと川とまちのフォーラム

「水の都」京都——かつては市内を大小さまざまな河川が流れ、豊かな地下水とともに茶の湯や友禅染、豆腐、酒といった京文化を育んできました。しかし近代化の中で多くの川が消え、あるいはその姿を大きく変え、人々の暮らしから遠ざかってしまいました。なによりも、水辺で遊ぶ子ども達の姿が見られなくなり、笑い声が聞こえなくなってから久しく経ちます。このフォーラムでは、水辺で遊ぶ子ども達を復活させることこそ、子ども達の豊かな心の成長とともに地域の活性化や豊かな水文化の継承に繋がると考え、子どもと大人が一緒になって川で遊び、川（自然）を体験し、自然に学ぶ活動を続けています。

